

刻を大相忌をん得達へり。や吹浦ありハ
大相忌月山なり。羽澤記に云く曰慶長又
年二月廿六日羽忌山に末寺末山の牒狀の
文曰上教復飲家恣竊西勢悩亂万民掃
棄神位是故亂流必憤憤恨之処云云以歎
有而後現之說宣而責亂流曰神志是
陰陽之測理辨之む其意云辨や何説童
子成之祥け説虚妄也。亂流曲偽惡口也
然則亂流虚偽之張本可召禁絶若坊阿
闍梨高伝福田坊阿闍梨能伝之は頗以
牒狀攻之云々。牒狀の中にありて現とあり
ハ則福川ありて現の事なり。三山雅集
後に入筆の記云越より葉山へ驅かありて
是よりといふ。而して生泊つうふといふ事
見へり。

一尾公屋補

科沃村の月下庵といふ所の川より赤い山
下あり。徳吉府將軍兼陸奥守秀衡入りの
妹徳尼公女ありて尚而も隠れ居ありてそ
泉水記云と今にあり。徳吉の大本ありて